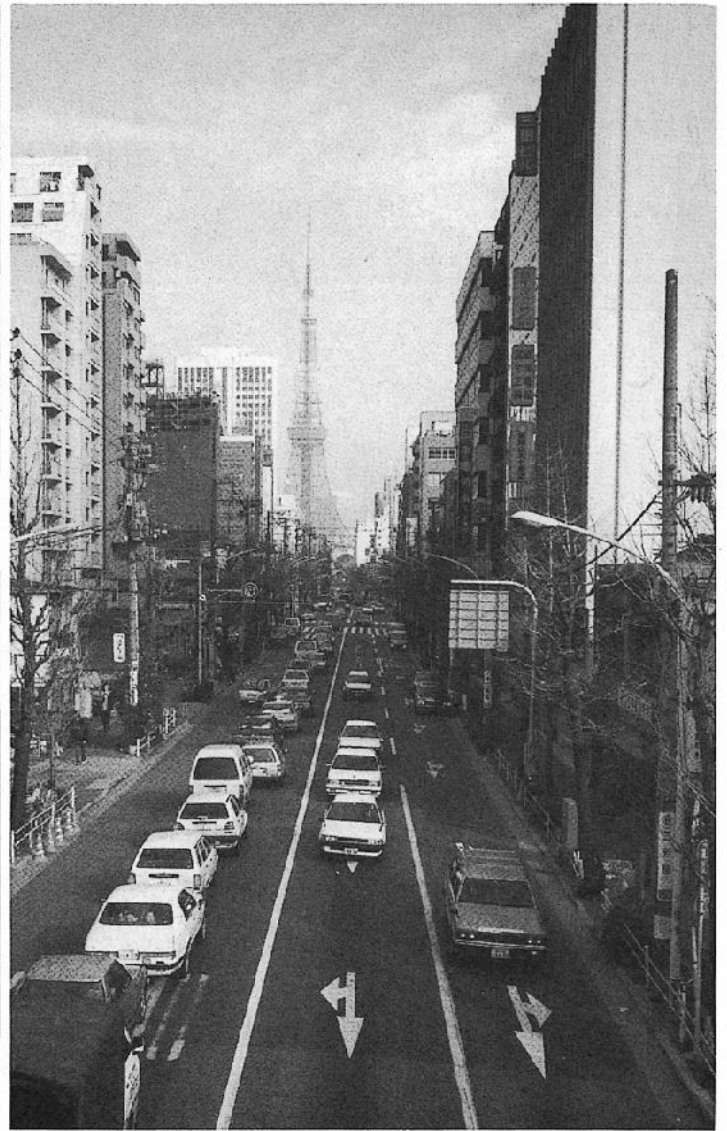


現在の三田通り。拡幅の為の工事をしている



母校へ通じる道の交差点。右側の木が茂っている所に三田警察署があった



昭和六十年頃の三田通り



現在の済生会中央病院



昭和四十二年頃の済生会中央病院
〔「さいせい」平成9年5月号より〕

大きく見えるのは、道路幅が広がったせいだろうか。三田通りは今拡幅工事の最中である。計画は昭和二十一年に出来上がったのだが、一番早く事業決定（工事が始まること）がなされた所でも昭和六十三年で、その間実に四十年。でもまだ完成していない。道路幅は三十メートルになるというので、場所によっては今までの幅の一・五倍から二倍位になるそう。母校へ通じる道に入るあたりはすでに工事が終わっていて、私達が休日の部活の時に利用していたパン屋さんは、

今は失くなっている。
◎三田警察署から
済生会中央病院と
赤羽橋

三田通りから母校へ向かう道に入る角にあった三田警察署は、現在は札の辻交差点わきに移動し、あとには三田国際ビルヂングが建っている。廻りを圧倒しているこの白い巨大なビルは昭和五十年竣工。地上二十六階地下三階の中には、九十四もの会社が入っている。その広い敷地は西側は三田高校と境を接し、北側は三田通りに沿ってずっと赤羽橋あたりまで

続き、芝生のある公開

その済生会中央病院の正面玄関に面したあたりは、都電の赤羽橋の停留所があった所だ。母校の同窓生の何人の人達が、ここで都電を降り降りしていただろうか。その都電は昭和四十二年十二月に廃止されている。そしてあの頃あった済生会中央病院の長いコンクリートの塀は取り払われ、この一帯はすっかり様替わりしている。